

## 豪雨等災害の事前及び発生時における防火安全上の注意点

- 1 停電時の対処方法を確認の上、適切な管理を実施すること。
- 2 自家発電設備の稼働 自家発電設備の稼働中、新たな災害が発生した場合は、発電設備のサービスタンク 及び配管等の損傷、漏油等の発生がないこと等、安全を確認した上で、再稼働させること。
- 3 浸水に伴い、電気コンロや電子レンジ等の電気機器の使用中に停電した際には、スイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜くこと。
- 4 給電が復旧し、電気機器の使用を再開する際は、浸水等により電気機器、その配線 等に損傷がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認すること。
- 5 長時間停電が継続した場合については、消防用設備等が正常に作動しないことも想定されるため、コンロその他火気使用設備・器具の火元の警戒、関係者等の巡回、消火器等の設置場所及び使用方法の再確認を行うことなどにより、火災予防体制の強化を図ること。